

Sustainable Report No.110

音楽フェスから始まる 食品廃棄物の有効活用

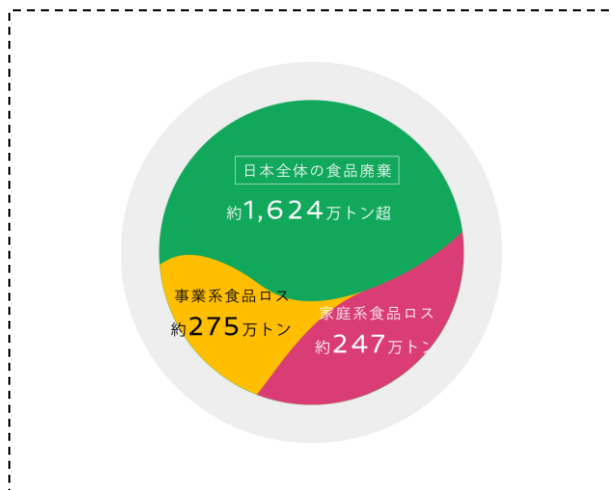


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

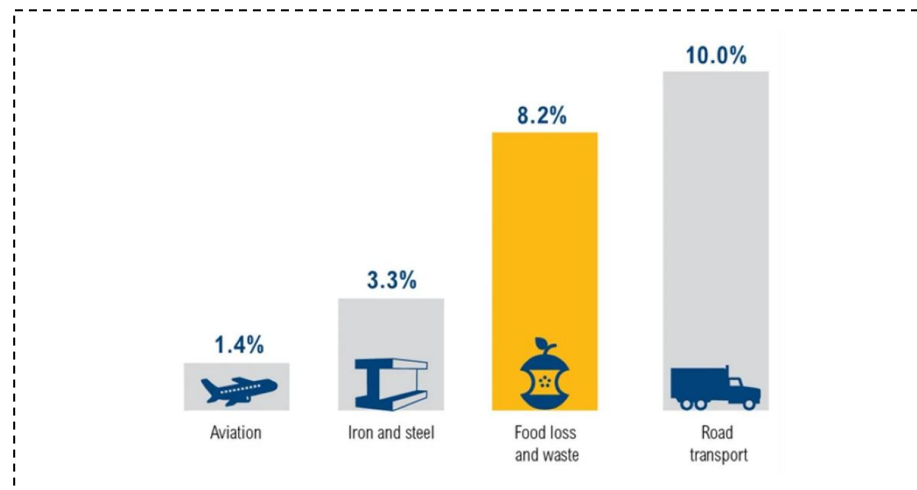
- 農林水産省の発表によると、廃棄物処理法における2020年度の**食品廃棄物は合計で1,624万トン**。
- 飲食店やイベントにおいては、**客の食べ残しや発注ミス、調理余剰**（客数の予測・需要見込みを誤り料理を作りすぎてしまうこと）などが主な原因にあげられる。
- 食品を**焼却処理する際に排出されるCO2が地球温暖化の一因となり**、気候変動などの環境問題を招く。

■ 日本全体の食品廃棄



出典：農林水産省をもとに日本もったいない食品センター作成

■ 食品廃棄物から排出される温室効果ガスの量



出典：朝日新聞デジタル

▶NEXT：音楽フェス会場の食べ残しを完熟たい肥に

■ 実行者／解決方法／残る課題

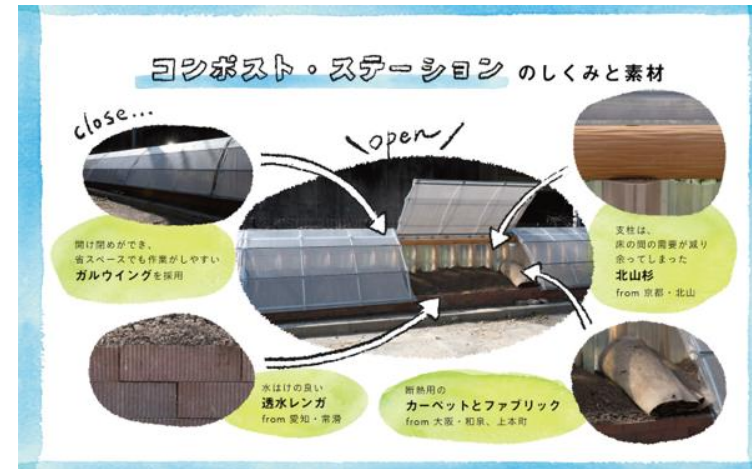
- ロックバンド「くるり」が主催している音楽フェス「**京都音楽博覧会**」が環境のための取り組みとして「資源が“くるり”プロジェクト」を2022年に始めた。
- イベントでの食べ残しや余った食材など**食品由来の廃棄物を入れるコンポスト・ステーション**をフェスの会場である梅小路公園に設置。完熟たい肥を生成し、公園樹木の肥料として還元した。
- たい肥の活用方法の工夫により、**近隣住民一人一人との関係を強化できる**余地があるのではないかと。

■ 京都音楽博覧会



出典：京都音楽博覧会

■ コンポスト・ステーションのしくみと素材



出典：京都リサーチパーク株式会社

▶ NEXT : 近隣住民との関わりを深めるためにたい肥を使用へ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- たい肥を公共施設に提供するなど**住民にとって間接的な活用は資源循環を実感しにくい**のではないかと。
- 全国のフェス会場に**コンポストが設置され、たい肥が必要な人に有効活用**される状態が理想である。
- イベント運営者は、会場の近隣で植物や食材を育てる人に直接たい肥を届けるなど**住民との関わりを深めるツールとして活用**し、地域の協力を得た持続可能なイベント実施に繋げることが期待される。

■ コンポスト設置場所の条件

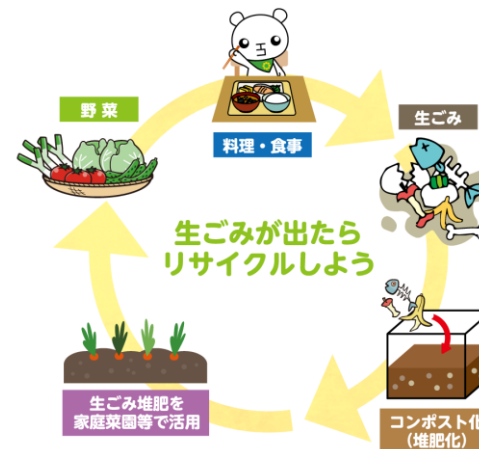
① 日当たりがいい

② 水はけがいい

③ 風通しがいい

出典：IDEAS FOR GOODをもとに筆者作成

■ たい肥の活用例



出典：北九州市環境局循環社会推進課

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 日本もったいない食品センター, 「食品ロスの現状と世界との比較」, 2023年10月24日参照 (<https://www.mottainai-shokuhin-center.org/now/>)
- READYFOR, 「京都音楽博覧会2023。環境・文化・音楽を“くるり”と繋ごう。」, 2023年10月24日 (<https://readyfor.jp/projects/onpaku2023>)
- 京都リサーチパーク, 「コンポストが見つないだ 京都音楽博覧会と地域のサステナブルな関係性 「資源が“くるり”プロジェクト」の活動から見てきたものとは?」, 2023年7月19日 (<https://www.krp.co.jp/news/detail/3996.html>)
- 朝日新聞デジタル, 「食品ロスは温暖化の主犯格? 知られざる気候変動との関係」, 2021年9月21日 (<https://www.asahi.com/sdgs/article/14444362>)
- 北九州市環境局循環社会推進課, 「生ごみのリサイクル(コンポスト化)」, 2023年11月7日 (<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/nokoshimasengen/namagomi.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。